

Panel Service v1 ユーザーズガイド

SDK/J Authentication Package Version:1.0



重要

Copyright © 2008 Ricoh Co., Ltd.

ご注意

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載、配布することはできません。
3. 本書を使用したことによるお客様の損害、遺失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

4. 商標について

Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

PostScript、Acrobatは、アドビシステムズ社の各国での登録商標または商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java、JavaCard、JVM (CVM)、CDCは、すべてSUNの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Eclipseは、eclipse.orgの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

OSGi(TM)はThe Open Services Gateway Initiativeの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Apacheは、The Apache Software Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

目次

| | |
|----------------------|----|
| 1. 本書の目的 | 2 |
| 2. 対象読者 | 3 |
| 3. インストール・起動手順 | 4 |
| 4. こんなときには | 11 |
| 変更履歴 | 12 |

1. 本書の目的

本書は、Device SDK Type-J（以下、SDK/J）から本体システムのアクセスロール機能を利用するためのライブラリである Panel Service v1.0（以下、Panel Service）を利用したアプリケーションを使用するためのガイドです。このガイドの目的は、Panel Service を利用したアプリケーションのインストール・使用にあたっての方法ならびに注意すべき事項に関する情報を、Panel Service を利用したアプリケーションの使用者に提供することです。

2. 対象読者

本書には、Panel Service を利用したアプリケーションのインストール・使用にあたっての方法ならびに注意すべき事項に関する情報が記述されています。したがって、Panel Service を利用したアプリケーションのユーザーはこのガイドを読む必要があります。

このガイドでは、次の知識を必要とします。

- 本体システムのアクセスロール機能に関する十分な知識
- Panel Service の基礎知識
- Enhanced Authentication Management Library の基礎知識
- SDK/J の基礎知識

3. インストール・起動手順

この章では、Panel Service を利用したアプリケーションのインストール・起動手順を記載します。

<<注意>>

Panel Service を利用すると、SDK/J アプリケーションから本体ユーザ認証機能を利用することが出来ます。よって、Panel Service を利用したアプリケーションの使用に際して、本体の認証機能の設定を変更する場合があります。この際、適切な手順でインストール・起動および本体の認証機能の設定を行わない場合、認証要求画面を解除できなくなる可能性があります。インストール・起動および使用に際しての本体の認証機能の設定は、必ずこの章で記載する手順に従って行ってください。

手順：

Panel Service を利用したアプリケーションのインストール

Panel Service を有効に設定し、Panel Service を利用したアプリケーションのインストールを行います。詳細は、「Authentication Package 設定ガイド」および「Panel Service 開発者ガイド」を参照ください。

Panel Service を利用したアプリケーションの起動

Panel Service を利用したアプリケーションの起動を行います。

本体の認証機能の設定

本体ユーザ認証機能を有効にするための設定を行います。カードによるログインユーザ名・ログインパスワードの認証が有効となるように設定する必要があります。

Panel Service 利用アプリケーションで、カードを利用した本体ユーザ認証機能へのログインが有効となるのは、以下のような設定を行った場合になります。

| | 管理者認証管理 (ユーザ 管理者) | ユーザ認証管理 (ユーザ コード 以外) | 拡張認証管理 | | |
|---------------|----------------------|-------------------------|--------|--------|----------|
| | | | 設定 | 認証方法併用 | ICカード種別 |
| カード・手入力 併用 | する | する | する | する | リコ-ICカード |
| カードのみ | する | する | する | しない | リコ-ICカード |

設定項目が存在する場合のみ、設定を確認してください。

カード・手入力併用で認証する場合、カードを使用したログインとオペパネ上ソフトキーボードからの手入力のログインの両方が可能です。

カードのみで認証する場合、カードを使用したログインのみが可能です。

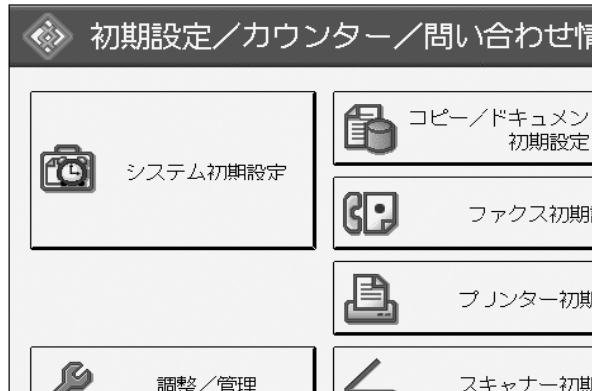
Panel Service によるログアウト機能を使用する場合は、RiDP にお問い合わせください。

以降では、上記設定を行うための手順を解説していきます。各機種での詳細は、各機種のユーザガイドを参照ください。

STEP-1 ユーザ管理者認証管理 の設定

ログインユーザ名・ログインパスワードによるユーザ認証管理の設定を行うために、機器においてユーザ情報を格納しているアドレス帳の管理を行うユーザ管理者の認証設定を有効にします。

1. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。
2. [システム初期設定] を押します。



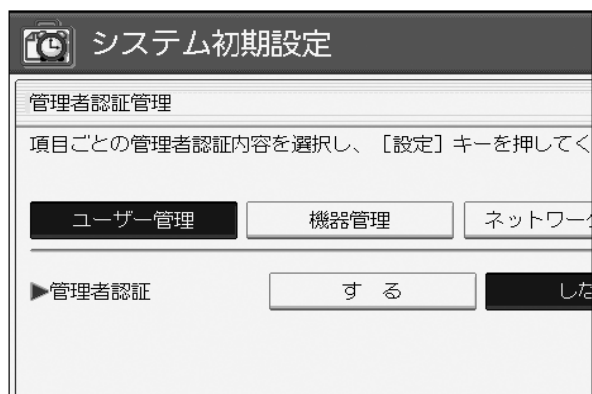
3. [管理者用設定] を押します。



4. [管理者認証管理] を押します。



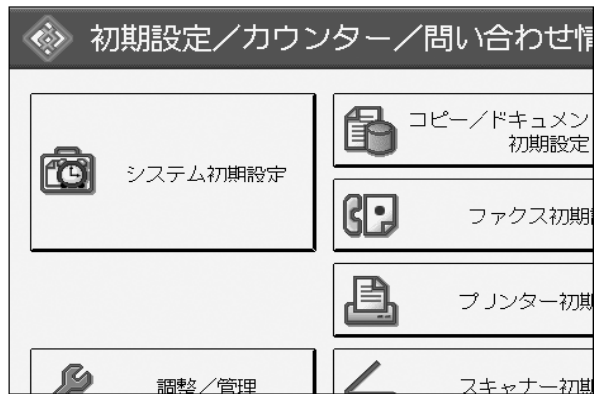
5. [ユーザー管理] で [する] を選択します。



STEP-2 ユーザー認証管理 の設定

ログインユーザ名・ログインパスワードによるユーザ認証管理を行うための設定をします。

1. [初期設定/カウンター/問合わせ情報] キーを押します。
2. [システム初期設定] を押します。



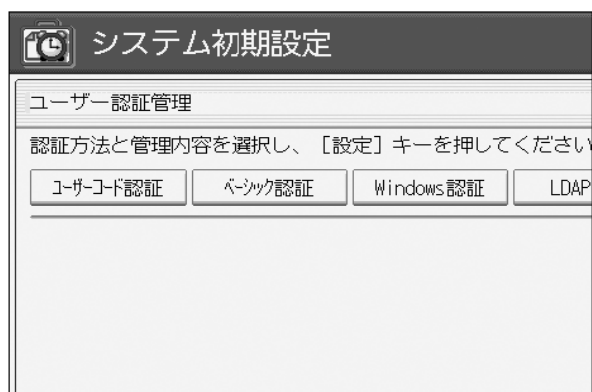
3. [管理者用設定] を押します。



4. [ユーザー認証管理] を押します。



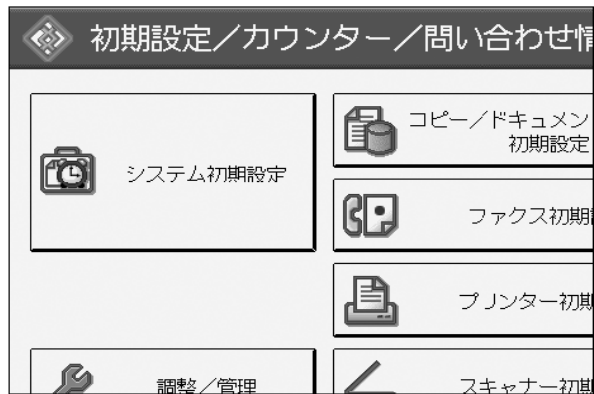
5. ログインユーザ名・ログインパスワードによってユーザ認証を行う認証方式を選択します。
([ベーシック認証]、[Windows認証]、[LDAP認証]、[統合サーバー認証]のいずれかとなります。)



STEP-3 拡張認証管理 の設定

カードによる認証を行うための設定をします。

1. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。
2. [システム初期設定] を押します。



3. [管理者用設定] を押します。



4. [拡張認証管理] で [する] を選択します。



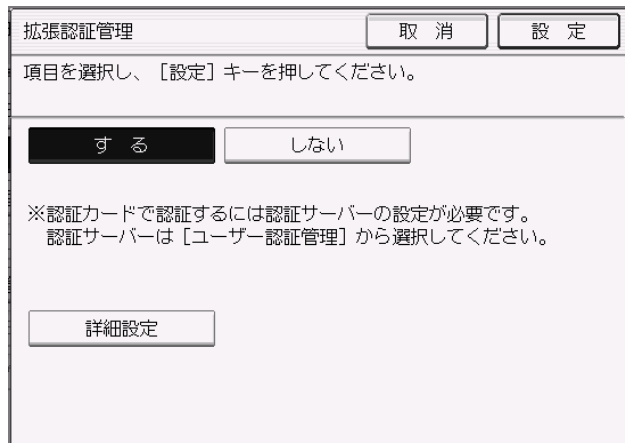
5. [詳細設定] を設定します。

・ [ICカード認証種別]

本設定項目が存在する場合は、必ず [リコーICカード] を選択してください。

・ [認証方法の併用]

オペパネ上ソフトキーボードからの手動入力によるログインユーザ名・ログインパスワードの入力を許可せず、カードによる認証のみを有効にしたい場合のみ、[しない] に設定します。ただし、この設定を有効にするためには、機器管理者のカードをカードリーダーにセットする必要があります。



<<注意>>

拡張認証管理を [する] にしたまま Panel Service 利用アプリケーションの停止・アンインストールを行ったり、Panel Service 利用アプリケーションのインストールされている VM カードをスロットから除去した場合、SC 636-01 が発生します。上記作業を行う前に、必ず拡張認証管理を [しない] にするようご注意ください。

4. こんなときには

この章では、Panel Service および Panel Service 利用アプリケーションを使用する上で起こりうる問題と、その解決方法に関して記載します。

| 問題 | 解決方法 |
|--|--|
| 機器管理者のカードとはなにか。 | 取得されるログインユーザ名・ログインパスワードが、機器管理者のものであるようなカード、または、取得されるデータが、アプリケーション内で機器管理者のログインユーザ名・ログインパスワードと対応づけられるようなカードです。 |
| アドレス帳のユーザのログインユーザ名・ログインパスワードの設定方法がわからない。 | アドレス帳のユーザのログインユーザ名・ログインパスワードは、ユーザ認証管理が設定されている状態で、ユーザ管理者権限でログインを行うことで編集が可能となります。詳細は、各機器のユーザガイドを参照ください。 |
| 認証要求画面を解除できない。 | Web Image Monitor から機器管理者権限でログインを行い、ユーザ認証管理の設定を変更することが可能です。詳細は、各機器のユーザガイドを参照ください。 |
| SC 636-01 が発生する。 | 拡張認証設定を行ったままで SDK/J SD カードをスロットから抜いたまま電源を投入したか、Panel Service API を無効に設定しています。Panel Service API を有効にした SDK/J SD カードをスロットに戻し、電源を再投入してください。それでも SC が発生する場合、SDK/J の起動後に再度再起動を行ってください。他の解決策および最新情報は、RIDP にお問い合わせください。 |
| SC 636-02 が発生する。 | SDK/J が起動した後、機器を再起動してください。他の解決策および最新情報は、RIDP にお問い合わせください。 |
| ユーザ管理者（または機器管理者）のログインユーザ名・ログインパスワードがわからない。 | スーパーバイザー権限でログインを行うことで各管理者のログインユーザ名の確認及びログインパスワードの変更が可能です。詳細は、各機器のユーザガイドを参照ください。 |

変更履歴

| | |
|---------------|---|
| Ver. 1.0beta | 初版 |
| Ver. 1.0beta2 | Beta 2 版 「こんなときには」更新 |
| Ver. 1.0 | v1.0 正式リリース版 |
| Ver. 1.1 | V1.1 正式リリース版 拡張認証管理の詳細設定に、ICカード種別の記載を追加。 |